



2026年4月1日

各 位

House of Doge および ReYuu Japan 株式会社との
ドージコイン ETF を見据えたファンド組成に関する最終合意のお知らせ

～Dogecoin エコシステムおよび RWA 事業に関する多角的連携を推進！～

当社は、Dogecoin 財団の公式な企業活動部門である House of Doge（以下「House of Doge」といいます。）および、リユースモバイル事業を基盤としつつ、ブロックチェーン関連領域への展開を進める ReYuu Japan 株式会社（証券コード：9425、以下「ReYuu Japan」といいます。）との3社間戦略的パートナーシップに基づき、ドージコイン（DOGE）を投資対象とする ETF 組成を見据えたファンドの設計および組成に関し、最終合意に至りましたので、下記のとおりお知らせいたします。

*ETFとは「Exchange Traded Fund」の略で、日本語では「上場投資信託」と呼ばれます。



リ・ユースフルな未来へ
 ReYuu Japan



※) House of Doge（ハウス・オブ・ドージ）：<https://www.houseofdoge.com/>

1. 背景および経緯

当社は、2026年3月4日付「ドージコインETFを見据えたファンド組成に関する協議開始のお知らせ」にて公表のとおり、House of Doge および ReYuu Japan との間で協議を進めてまいりました。

今般、当該協議の結果、ファンドの基本設計、役割分担および推進体制について具体的な合意に至り、本プロジェクトを実行フェーズへ移行することを決定いたしました。



ドージコインは、世界的に高い時価総額および流動性を有する主要暗号資産の一つであり、直近では時価総額約3兆円規模で推移しております。

(CoinMarketCap等の主要集計サイトの直近公表データを参照)

2. 本合意の概要

本合意は、ドージコインを対象とした金融商品化を見据え、以下の取り組みを共同で推進するものです。

- (1) ドージコインを主要投資対象とする私募ファンドの組成
- (2) 将来的なドージコインETF組成を見据えた商品ストラクチャーの構築
- (3) 国内外の規制動向を踏まえた法令対応体制の整備
- (4) 機関投資家および適格投資家向けの商品開発

本取り組みは、国内におけるドージコインの金融商品化に向けた先駆的事例の一つとなることを目指すものです。

なお、現時点でファンドの正式組成・募集開始等が決定しているものではありません。

3. 各社の役割

本プロジェクトにおける主な役割分担は以下のとおりです。

■ abc株式会社およびabc証券株式会社

- ・ファンドの組成および運営主体
- ・金融商品設計および証券機能の提供

※本ファンドは、当社子会社であるabc証券株式会社が組成・運営主体となる予定であり、当社グループにおける金融商品組成機能の強化を図る重要な取り組みとなります。

■ House of Doge (HoD)

- ・ドージコインエコシステムとの連携
- ・グローバルネットワークを活用した支援

■ ReYuu Japan 株式会社

- ・ドージコインの市場買付等を含むトレジャリー戦略の推進
- ・Web3 事業における実証連携

4. 今後の展開

本ファンドは、将来的なドージコインETF組成に向けたステップとして位置付けられるものであり、当社は関係各社と連携しながら、具体的な商品設計および組成準備を進めてまいります。

また、各社の役割は本パートナーシップにおける目的達成のため、協業の進行ステージにあわせて随時協議していきます。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることを決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは遠いところで決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこから生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上